

生命医科学部 医情報学科
アドミッション・ポリシー

医情報学科では、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドで、医学および医情報学の複眼的視点から創意工夫をもって課題解決へと導くことのできる技術者、研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

医情報学科の求める学生像

知識・技能

生命医科学に関連する基礎医学や生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する知識を得るために必要な、自然科学の基礎学力やヒトを主体とする情報利用に関する技術を身につけるために必要な基礎的な知識・技能を有する学生を求めています。

思考力・判断力・表現力

日本語および英語の基本的な読解能力と表現能力を有し、論理的思考能力と、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたいと希望する学生を求めています。

主体性・多様性・協働性

生命医科学に関する様々な問題について幅広い関心と向上心を持ち、自ら課題を発見し、解決する能力を習得したいと希望する学生を求めています。また、これらを協働して行うことを目指す学生を求めています。

国際社会に通用する技術者、研究者となることを希求する学生を求めています。

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

英語

科学技術の世界は既にグローバル化されており、世界中から発信される新しい情報の理解や、世界へ向けての情報の発信には英語が欠かせません。英文読解や英作文、英語会話力なくして先端科学技術に接することは困難です。入学までにできる限りこれらの能力を磨いておいてください。

数学

医情報学科においては数学の知識は必須です。数学を理工学や医学に応用するための基礎として、高等学校学習指導要領に準ずる数学の知識と技法を習得しておいてください。さらに、数学を通して、大学で学ぶ上で必要となる論理的思考能力を身につける努力をしておいてください。

理科

生命を理解し、医学に関連する技術や知識を学んでいくうえで、理科の知識が基礎となります。理科3分野（物理、化学、生物）の理解が必要です。大学の講義に連結させるために、これらの科目について、十分な理解を得るように努力してください。

国語（現代文）

グローバル化に適応するために英語は必須ですが、同時に、日本語の能力も欠かせません。読解力、表現力などを身に付けておく必要があります。

入学者選抜制度

医情報学科では、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドで活躍できる技術者、研究者を目指す多彩な学生の入学を期待しています。本学独自の学力試験のほかに、大学入試センター試験、書類審査、面接、自己アピールなどを取り入れることにより、学力の3要素「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」について、それぞれの入試方式において重み付けを行い評価し、多様な志願者の能力や資質等を総合的に審査しています。

一般選抜入学試験

高等学校教育を尊重し、高等学校までの学習の達成・定着度を測るとともに、医情報学科の教育を受けるにふさわしい能力と適性を備えたものを公正かつ妥当に選抜するために一般選抜入学試験を実施しています。入試問題の作成にあたっては、全学的に組織された科目ごとの出題委員会において長期間にわたって慎重に審議し、検討を重ね、高等学校での着実な学習努力が報われるように難問や奇問を避け、公平で偏りのない出題に留意しています。とりわけ、本入試においては、マークシート方式ではなく記述式を用いた独自の入試問題による選抜を行うことで、知識・技能のみならず出題意図を正確に理解する力や論理的思考力、正確な表現力の評価にも重点を置き、総合的に審査しています。計算力を問う出題についても同様に記述式解答方法を用いており、結論に至るプロセス等も含め、丁寧に採点しています。

大学入試センター試験を利用する入学試験

入学志願者の高等学校までの学習の達成・定着度を測るとともに、医情報学科の教育を受けるために必要な学力が備わっているか、大学入試センター試験の結果により評価しています。

アドミッションズ・オフィス方式による入学者選抜

従来の教科・科目の筆記試験だけでは測ることができない一人ひとりの多様な能力や将

来の可能性、医情報学科で学びたいという目的意識・学習意欲を持って、自ら問題を発見し、その解決に向けて主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた人物を適正に評価するために、出願書類に加えて、自己アピール、面接などによる丁寧な選抜を行っています。とりわけ、本入試においては、学びに対する高い意欲、「主体性・多様性・協働性」の評価に重点を置き、総合的に審査しています。

指定校制推薦入学試験

高等学校での学習及び課外活動を通じてこれまでに培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」等を備え、かつ医情報学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた人物を受け入れるために、学校長の推薦に基づき、調査書等では一定水準以上の「知識・技能」が備わっているか、志望理由書では「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、面接では「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、入学後の勉学における明確な志向及び意欲の評価に重点を置き、総合的に審査しています。

法人内諸学校推薦入学試験

同志社の一貫教育を通じて、同志社大学の建学の精神を深く理解し、医情報学科で学ぶ高い意欲や相応しい学力を備え、大学全体の活性化にも寄与できるような優れた人物を受け入れるために、調査書等では一定水準の「知識・技能」が備わっているか、志望理由書では「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、面接では「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価しています。とりわけ、本入試においては、「主体性・多様性・協働性」の評価に重点を置き、総合的に審査しています。